

学校教育目標『夢と希望に向かって努力し、  
他を思いやる、豊かな心をもった生徒を育む』

平成30年度 企救中学校 教育スローガン

「場を清め」「時を守り」「礼を正す」

**西日本豪雨による被災者の皆さまへ、心よりお見舞いを申し上げますとともに、**

**被災された地域の日も早い再建と復興を心からお祈り申し上げます。**

北九州市で2名の方が犠牲になるなどした7月6日からの記録的な豪雨で、土砂崩れや家屋の損壊等、680件を超える被害が出ました。現在も中国・四国地方を中心とした被災地では、避難を余儀なくされたみなさんの避難所における過酷な生活が続いています。一方、家屋の倒壊や土砂崩れなどによる安否不明者の搜索活動も、自衛隊や警察、消防により、昼夜を問わず行われています。

北九州市で生活する私たちも、今までに経験したことのない豪雨への対応に不安と反省の思いばかりです。今一度、自然災害情報へのアンテナを広く、高く設定し、注意報や警報・避難勧告・避難指示等があった場合は「これぐらい」と思うのではなく、速やかに命を守る行動をとっていきましょう。災害で亡くなられた方々のご冥福と、未だ避難されている方々の一刻も早い平穏な日々が訪れることをお祈りいたします。

## 「スクール救命士」2年生が真剣に学習しました。

7月10日（火）2～3校時に2年生全員を対象にした、「スクール救命士」を実施しました。この講習会は、心臓マッサージや人工呼吸など、緊急時の救命措置を中学生が学ぶために、北九州市教育委員会と北九州市消防局が連携して行っています。

まず、消防局の担当者が人間の脳は心臓の停止後3分ほどで機能しなくなることなどを説明し、消防隊が到着するまでの間に救命措置にとりかかることの重要性を訴えました。つづいて、生徒たちは、人形を使って心臓マッサージを体験し、ひじを伸ばすことや、胸が5センチ以上沈むように真上から力強く押すことなどを学びました。また、電気ショックを与えて心臓の動きを正常に戻すAEDの使い方や倒れた人を搬送する方法の実習も行われ、生徒たちは担当者からアドバイスを受けながら緊急時の対応を熱心に学んでいました。



# 企救中 ガンバリ！！ 中体連夏季大会！！

7月9日（月）に梅雨明けが発表され、いよいよ夏本番です。6月から始まった中体連夏季区内大会も終盤戦に入ってきました。それぞれの部活動では、これまで頑張ってきた練習の成果をすべて出し切り一所懸命戦いました。これまでの戦績を報告します。

## 小倉南区内大会

【軟式野球】準優勝

【陸上競技】男子4×100mR 2位（木元勇希・織田弧欧・宝利真和・原田啓汰）

【ソフトテニス】女子団体戦 1回戦 企救中 0-3 曾根中

女子個人戦 5位（牧野菜穂・中山真花）

【バスケットボール】男子 1回戦 企救中 52-60 曾根中

女子 1回戦 企救中 23-58 東谷中

【サッカー】予選リーグ 企救中 2-7 守恒中 企救中 0-8 沼中

【バドミントン】男子シングルス 優勝（久松直雄）

【剣道】男子個人戦 2回戦敗退

様々な部活動の区内大会を観戦して感じたのは、企救中学校代表生徒の頑張りは素晴らしく、姿勢態度が前向きで、観戦している多くの方々に感動を与えているということです。具体的には、「どんな苦しい状況になろうとも決してあきらめない」「仲間同士、声をかけ合い、励まし合い、元気を出してプレイする」「選手、監督、ベンチが一体となって試合に参加する」など、最高のパフォーマンスで会場を盛り上げていました。



いよいよ、7月14日（土）からの3連休は、小倉南区バレーボール大会の他にも、市内大会（陸上競技、軟式野球、ソフトテニス、水泳、バドミントン）が開催されます。また、文化部のコンクールやコンテスト等も7月下旬に予定されています。それぞれの会場で、企救中学校の生徒が全力を出せるよう、保護者の皆様、地域の皆様、盛大な応援をよろしくお願いいたします。

### <小倉南区内大会>

種目	期日	会場	その他
バレーボール	7月14日（土）予選リーグ 7月15日（日）決勝トーナメント	曾根中学校	予選1回戦 南曾根中 予選2回戦 横代中

### <北九州市内大会>

種目	期日	会場	その他
陸上競技	7月15日（日）～16日（月）	鞘ヶ谷競技場	
軟式野球	7月14日（土） 7月15日（日）	本城球場 9:00～ 桃園・的場池球場	1回戦 対飛幡中
ソフトテニス	7月15日（日）	三萩野庭球場	個人戦（ダブルス）
水泳競技	7月15日（日）	文化記念プール	
バドミントン	7月16日（月）	若松体育館	個人戦（シングルス）
吹奏楽	7月28日（土）	ソレイユホール	
放送	7月24日（火）	ウェルとばた	